

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	5 持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	1 戦略的なまちづくりの推進		
施策の方向性	●長期的なまちづくりの方向性である総合計画に沿ったまちづくりを行うため、目的を明確にし、目標を定め、社会情勢や住民ニーズに対応した適切かつ効果的な施策を推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	全単位施策指標の目標達成率	%	目標値		68.0	76.0	84.0	92.0	100
			実績値	51.5	41.2	46.9	44.0		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3:	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、目標値はおろか、前期最終年度（令和2年度）実績値49.6%も下回る結果となり、芳しくない状況です。
R4:	昨年度と比べると5.9ポイントの増となりましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
R5:	昨年度と比べると2.9ポイントの減となりました。新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
・評価及び対応方針	
R3:	即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き「商工住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち」という理念に沿った地道なまちづくりを行うことが、最大の打開策であると考えます。
R4:	
R5:	

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	総合計画推進事業	562	28	201	791
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		562	28	201	791

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

総合戦略

事務事業の名称	総合計画推進事業	事業番号	511101
担当部署名	総務企画部	政策企画課	
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	1:総合的なまちづくりの推進		
単位施策	1:戦略的なまちづくりの推進		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 令和3年度事業の計画策定を行いました。また、前期期間を対象に実施した政策評価の補完として、令和2年度事業の事務事業評価及び前期実施計画の施策評価・事務事業評価を実施しました。 ○ まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の改選を行うとともに、会議を開催し、第2期となる新たな計画について意見交換を行いました。
R4	○ 外部有識者による行政評価の導入に向け、導入自治体の事例研究を行うとともに、県内市町の行政評価の実施状況のヒアリングを行いました。 ○ 国が令和6年度までの地方創生の基本的方向を定めた「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月に策定することから、町の総合戦略の改訂プロセスを検討するため有識者会議の開催を延期しました。
R5	○ 外部有識者による行政評価の導入に向け、導入自治体の事例研究を行うとともに、県内市町の行政評価の実施状況のヒアリングを行いました。 ○ 国が令和6年度までの地方創生の基本的方向を定めた「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月に策定することから、令和4年度より引き続き町の総合戦略の改訂プロセスを検討するため有識者会議の開催を延期しました。

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	全事務事業指標の目標達成率	%	目標値	68.0	76.0	84.0	92.0	100.0
			実績値	48.7	52.0	55.3		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
指標の設定方法		総合計画の進行管理が目的のため、各事務事業評価指標の目標達成率を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	562	0	0	0	1	561
R4	28	0	0	0	0	28
R5	201	0	0	0	0	201
合計	791	0	0	0	1	790

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:事務事業76指標のうち、目標値を達成したのは37指標であり、実績値は48.7%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。

R4:事務事業75指標のうち、目標値を達成したのは39指標であり、実績値は52.0%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。

R5:事務事業76指標のうち、目標値を達成したのは42指標であり、実績値は55.3%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響から受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。

・評価及び対応方針

R3:新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。

R4:新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。

R5:目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:前期期間中1度も「達成」に至らなかった中、その成果と課題を踏まえ後期をスタートさせましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。

R4:昨年度と比べると3.3ポイントの増となりましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。

R5:昨年度と比べると1.3ポイントの増となりましたが、依然として目標値と乖離が生じた結果となりました。

・評価及び対応方針

R3:即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。

R4:即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。

R5:即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。